

安静心電図



心臓から出ているとても小さな電気についてみます。
安全で、痛みも伴わない身体にやさしい検査です。

Q 何のために
検査をするのですか？

A 胸になんらかの症状があったり、
診察で心臓に異常がある場合や
健康診断で指摘された際にまず
行ってみる検査になります。

Q 身体への負担は
どうですか？

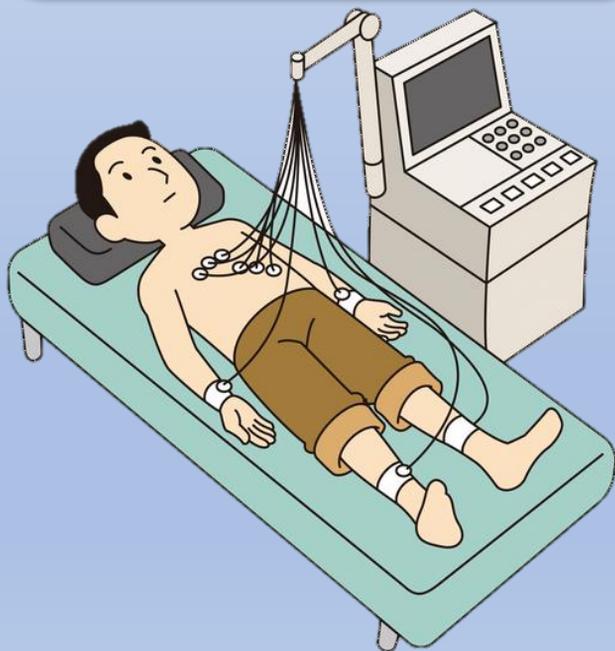
A 心臓からの電気を手首や足首・
胸に付けた電極を通じて拾って
いるだけなので、電気が身体に
流れたり身体を傷つける心配は
ありません。

Q 何がわかりますか？

A 心臓から発する電気の状態を見
ますので、不整脈や心臓の肥大、
心筋梗塞など心臓のいろいろな
ことがわかります。

Q 検査時間はどのくらい
かかりますか？

A 検査時間は、約3分くらいです。
検査の準備として衣服を脱いだり、
検査後に着たりする時間も含めて
5分くらいで終了します。



Q どのように検査するの
ですか？

A 上半身裸になり、手首や足首を見
えるようにしていただきます。
ベッドに仰向けに寝ていただき、
リラックスしてもらいます。電極
は手足に4つ、胸に6つ取り付け
ます。一般に、手足の電極は大き
な洗濯ばさみのようなもので固定
し、胸の電極は吸盤電極で、胸に
吸い付く感じになりますが、痛み
はありません。

この検査を受けられるご予約の場合は、足首が出るような服装で
(パストなどは控えて) ご来院されるよう、お願いいたします。

心電図で分かること

心臓のリズミカルな動きをつかさどっているのは実は電気です。心臓は筋肉でできた臓器で、その筋肉にかすかな電気が流れて興奮し、その結果、拍動が起こります。こうした心臓の電氣的活動をみるのが心電図で、＜図1＞に測定した心電図を示しました。心電図は両手足と胸にいくつかの電極をつけ、そこから心臓で発生する微小な電気を取り出して記録する検査です。痛みを伴うことはありませんし、記録するのにそれほど長い時間はかかりません。

心臓がリズミカルに動いているかどうか分かりますから、心臓のリズムが乱れる「不整脈」の診断には欠かせません。「心筋梗塞」や「狭心症発作」のときには、心臓の筋肉（心筋）の電氣的活動にも異常が生じるので、＜図2＞のように心電図に異常が出てきます。さらに、何らかの心臓疾患のために心筋に障害が起きている場合も異常心電図が認められます。このように心電図は心臓を診る上で、最も基本的な検査になります。

図1（健常の人）

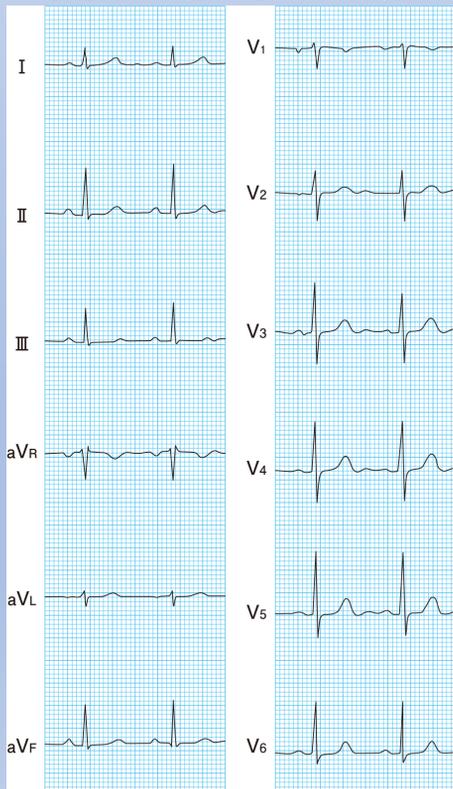


図2（心筋梗塞をおこした人）

